

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【公表番号】特表2007-523698(P2007-523698A)

【公表日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-553367(P2006-553367)

【国際特許分類】

A 4 7 L 11/10 (2006.01)

A 4 7 L 11/16 (2006.01)

A 4 7 L 11/20 (2006.01)

A 4 7 L 11/29 (2006.01)

A 4 7 L 11/33 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 11/10

A 4 7 L 11/16

A 4 7 L 11/20

A 4 7 L 11/29

A 4 7 L 11/33

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前部と後部とを有すると共に、底面部と、前記前部に近接した正面部と、上面部と、前記後部に近接した後面部と、左側面部と、右側面部と、を備えたシャーシと；

前記左側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第1の車輪と；

前記右側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第2の車輪と；

前記右側面部の少なくとも一部と前記左側面部の少なくとも一部との間に配置されて、前記後面部の一部から後方へ張り出すプラットフォームであって、シャーシ内に配置されると共に、前記第1の車輪の中心と前記第2の車輪の中心の間で伸長する軸の直上方に位置し、スロットルと、押し下げられていないときに前記スロットルを遮るオペレータ存在スイッチとを備える、プラットフォームと；

前記シャーシの前記底面部に操作可能に結合された、動力が付与される車輪と；

前記シャーシ内に収容され、オペレータによるアクセスが可能な部分を有する操舵機構と；

前記シャーシの底面部に近接して結合された操作可能な床処理デバイスと；

を備えた、ことを特徴とする床処理装置。

【請求項2】

前記プラットフォームは、座席を受け合い固定するのに適合している、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項3】

前記床処理デバイスは、ブラシ、磨きパッド、スキージ、及び真空装置の少なくとも1つである、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項4】

前記シャーシは、最大で、約5.1インチの高さ、約2.7インチの幅、及び約5.2インチの長さのエンベロープを有している、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項5】

前記プラットフォームがサスペンションシステムを有している、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項6】

前記操舵機構は、環状の部材、非環状の部材、ジョイスティック、ヨーク、ハンドルバー、及び制御パネル上の制御部、の少なくとも1つを備えている、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項7】

前記シャーシに取り付けられたホース及び杖部を更に備え、該ホース及び杖部は、加圧された流体またはエアの流れを選択的に方向付けるのに適合している、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項8】

前記床処理デバイスは、動力が付与される車輪を取り囲むブラシである、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項9】

前記シャーシは、排出チャンネルを有する前部部材を備えている、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項10】

前記左側面部と前記右側面部との間で計測したプラットフォームの長さは、当該プラットフォームの幅よりも大きい、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項11】

前記床処理デバイスはスキージを有し、該スキージは、清掃されるべき表面から所定距離に位置する第1位置での使用と、清掃されるべき表面上に位置する第2位置での使用とが可能である、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項12】

前記スキージは、手動操作のレバーを用いて、前記第1位置から前記第2位置へ移行する、ことを特徴とする請求項11記載の床処理装置。

【請求項13】

前記スキージは自動的に前記第1位置から前記第2位置へ移行させられる、ことを特徴とする請求項11記載の床処理装置。

【請求項14】

前記スキージは回転可能である、ことを特徴とする請求項11記載の床処理装置。

【請求項15】

前記プラットフォームは、前記スロットルを有効にするためには連繋していなければならないプラットフォームスイッチを備えている、ことを特徴とする請求項11記載の床処理装置。

【請求項16】

前記スロットルの絞り状態の程度に拘わらず装置がその速度レンジを越えることがない、速度レンジを設定する手段を更に有している、ことを特徴とする請求項15記載の床処理装置。

【請求項17】

制動機構を更に備えている、ことを特徴とする請求項1記載の床処理装置。

【請求項18】

前記制動機構は、操舵機構の近辺に位置するコンソール、操舵機構、及びプラットフォームの少なくとも1つに連結されている、ことを特徴とする請求項17記載の床処理装置

。

【請求項 19】

前記制動機構は、手動で制御される電子機械式デバイスである、ことを特徴とする請求項 17 記載の床処理装置。

【請求項 20】

前記シャーシの底面部に近接して結合された屑収集デバイスを更に備えている、ことを特徴とする請求項 1 記載の床処理装置。

【請求項 21】

流体分配メンバと操作可能に連通している、清浄な流体の貯留コンパートメントを更に備えている、ことを特徴とする請求項 1 記載の床処理装置。

【請求項 22】

流体収集システムと操作可能に連通している、予備の流体の貯留コンパートメントを更に備えている、ことを特徴とする請求項 1 記載の床処理装置。

【請求項 23】

流体貯留コンパートメントと化学薬品貯留コンパートメントと制御機構とを備え、該制御機構は、前記流体貯留コンパートメントからの流体を選択的に前記化学薬品貯留コンパートメントからの流体と混合させて清掃液剤を形成する、ことを特徴とする請求項 1 記載の床処理装置。

【請求項 24】

前記清掃液剤は流体分配メンバと連通している、ことを特徴とする請求項 23 記載の床処理装置。

【請求項 25】

前部と、後部と、底面部と、前記前部に近接した正面部と、前記後部に近接した後面部と、左側面部と、右側面部と、を有するシャーシと；

前記左側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第 1 の車輪と；

前記右側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第 2 の車輪と；

前記右側面部の少なくとも一部と前記左側面部の少なくとも一部との間に配置されて、前記後面部の一部から後方へ張り出し、オペレータの体重を支えるのに適合し、スロットルと、押し下げられていないときに前記スロットルを遮るオペレータ存在スイッチとを備える、プラットフォームと、

前記底面部に操作可能に結合された少なくとも第 3 の車輪であって、プラットフォームが、シャーシ内に配置され、前記第 1 の車輪の中心と前記第 2 の車輪の中心の間で伸長する軸の直上方に位置する、第 3 の車輪と；

少なくとも部分的に前記シャーシ内に収容され、前記左側面部と右側面部の間に位置する第 3 の車輪に対して操作可能に連結され、前記シャーシが、他の方向に移動することなく 360 度回転できるようにする、操舵機構と；

前記底面部に連結された床処理機構と；

前記車輪の少なくとも 1 つに連結された動力装置と；

を備えた、ことを特徴とする床処理装置。

【請求項 26】

前記プラットフォームは、オペレータ用の座席を受け合うのに適合している、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 27】

前記床処理機構は、ブラシ、研磨器、スキージ、及び真空装置の少なくとも 1 つである、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 28】

前記シャーシは、最大で、約 50 . 75 インチの高さ、約 26 . 5 インチの幅、及び約 51 . 5 インチの長さのエンベロープを有している、ことを特徴とする請求項 25 記載の

床処理装置。

【請求項 29】

前記プラットフォームがサスペンションシステムを有している、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 30】

前記操舵機構は、環状の部材、非環状の部材、ジョイスティック、ヨーク、ハンドルバー、及び制御パネル上の制御部、の少なくとも 1 つを備えている、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 31】

前記シャーシに取り付けられたホース及び杖部を更に備え、該ホース及び杖部は、加圧された流体またはエアの流れを選択的に方向付けるのに適合している、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 32】

前記床処理機構は、前記第 3 の車輪を取り囲むブラシである、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 33】

前記シャーシは、排出チャンネルを有する前部部材を備えている、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 34】

前記左側面部と前記右側面部との間で計測したプラットフォームの長さは、当該プラットフォームの幅よりも大きい、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 35】

前記床処理機構は回転可能なスキージを有し、該スキージは、清掃されるべき表面から所定距離に位置する第 1 位置での使用と、実質的に清掃されるべき表面上に位置する第 2 位置での使用とが可能である、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 36】

前記回転可能なスキージは、手動操作のレバーを用いて、前記第 1 位置から前記第 2 位置へ移行する、ことを特徴とする請求項 35 記載の床処理装置。

【請求項 37】

前記回転可能なスキージは自動的に前記第 1 位置から前記第 2 位置へ移行させられる、ことを特徴とする請求項 35 記載の床処理装置。

【請求項 38】

前記プラットフォームは、前記スロットルを有効にするためには連繋していなければならないプラットフォームスイッチと備えている、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 39】

前記スロットルの絞り状態の程度に拘わらず装置がその速度レンジを越えることがない、速度レンジを設定する手段を更に有している、ことを特徴とする請求項 38 記載の床処理装置。

【請求項 40】

制動機構を更に備えている、ことを特徴とする請求項 25 記載の床処理装置。

【請求項 41】

前記制動機構は、操舵機構の近辺に位置するコンソール、操舵機構、及びプラットフォームの少なくとも 1 つに連結されている、ことを特徴とする請求項 40 記載の床処理装置。

【請求項 42】

前記制動機構は、手動で制御される電子機械式デバイスである、ことを特徴とする請求項 40 記載の床処理装置。

【請求項 43】

前記シャーシの底面部に近接して結合された屑収集デバイスを更に備えている、ことを

特徴とする請求項 2 5 記載の床処理装置。

【請求項 4 4】

流体分配メンバと操作可能に連通している、清浄な流体の貯留コンパートメントを更に備えている、ことを特徴とする請求項 2 5 記載の床処理装置。

【請求項 4 5】

流体収集システムと操作可能に連通している、予備の流体の貯留コンパートメントを更に備えている、ことを特徴とする請求項 2 5 記載の床処理装置。

【請求項 4 6】

流体貯留コンパートメントと化学薬品貯留コンパートメントと制御機構とを備え、該制御機構は、前記流体貯留コンパートメントからの流体を選択的に前記化学薬品貯留コンパートメントからの流体と混合させて清掃液剤を形成する、ことを特徴とする請求項 2 5 記載の床処理装置。

【請求項 4 7】

前記清掃液剤は流体分配メンバと連通している、ことを特徴とする請求項 4 6 記載の床処理装置。

【請求項 4 8】

少なくとも廃棄物容器および流体を保持するタンクを取り囲む囲いであって、前部と、後部と、底面部と、前記前部に近接した正面部と、前記後部に近接した後面部と、左側面部と、右側面部と、を有する囲いと；

前記左側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第 1 の車輪と；

前記右側面部に近接して前記底面部に操作可能に結合され、前記正面部よりも前記後面部により近い位置に配置された第 2 の車輪と；

前記右側面部の少なくとも一部と前記左側面部の少なくとも一部との間に配置されて、前記後面部の一部から後方へ張り出すプラットフォームであって、シャーシ内に配置され、前記第 1 の車輪の中心と前記第 2 の車輪の中心の間で伸長する軸の直上方に位置する、プラットフォームと；

装置に対して操作可能に結合され、床処理装置の移動および旋回の少なくとも何れか一方が可能な駆動機構と；

前記囲い又はプラットフォームの少なくとも一方に結合された操舵アッセンブリと；

前記囲いの底面部に操作可能に結合された床処理アッセンブリと、
を備えた、ことを特徴とする床処理装置。

【請求項 4 9】

前記床処理アッセンブリは屑収集アッセンブリを備えている、ことを特徴とする請求項 4 8 記載の床処理装置。

【請求項 5 0】

前記駆動機構は、少なくとも 1 つの車輪に繋がった電動モータである、ことを特徴とする請求項 4 8 記載の床処理装置。

【請求項 5 1】

前記操舵手段は、少なくとも 1 つの操舵輪、少なくとも 1 つのジョイスティック、ヨーク、ハンドルバー、及び遠隔制御システムである、ことを特徴とする請求項 4 8 記載の床処理装置。

【請求項 5 2】

前記床処理アッセンブリは、屑および流体を捕捉しそれらを吸引手段に向かわせるデバイスを有しており、屑および流体を捕捉する前記デバイスは、床処理装置が向きを変えるときに流体及び屑が包含される、前記囲いの底面部に回転可能に結合されている、ことを特徴とする請求項 4 8 記載の床処理装置。

【請求項 5 3】

前記床処理手段は、ブラシ、スクラパー、磨きパッド、及びスキージの少なくとも 1 つである、ことを特徴とする請求項 4 8 記載の床処理装置。

【請求項 5 4】

前記ブラシは略前記囲いの左側面部から右側面部にかけて広がり、清掃される表面に略平行な軸において回転する、ことを特徴とする請求項 5 3 記載の床処理装置。

【請求項 5 5】

前記スクラパーは、清掃される表面に略垂直な軸において回転する、ことを特徴とする請求項 5 3 記載の床処理装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 2】

図 1 6 を参照すれば、本発明の 1 つの実施形態のプラットフォーム 4 が示されている。特に、本発明の 1 つの実施形態には、オペレータ存在スイッチ 8 0 , プラットフォームスイッチ及びスロットル(throttle) 8 2 を備えたプラットフォーム 4 がある。プラットフォーム 4 は、懸下システムを備え、オペレータの快適性を高めるためにクッションで支えられている。更に、プラットフォーム 4 は、装置の外包を選択的に小さくできるように、折り畳み可能にすることができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 3】

本発明の 1 つの実施形態のオペレータ存在スイッチ 8 0 は、押し下げられていないときに、スロットルペダルを遮る安全装置として機能するように設計されている。このことは、オペレータが、機械の使用時に、プラットフォーム 4 上に両脚を位置させることを確かなものとする。例えば、オペレータがスイッチから足を離れた場合などに、スイッチが解除されると、装置の動力化または前方移動も後方移動もできないように、中立モード(ニュートラルモード: neutral mode)になることができる。更に、オペレータ存在スイッチ 8 0 は、安全装置として常にプラットフォーム 4 上に十分な重量が維持されることを保証し得る。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 5】

本発明の幾つかの実施形態のスロットル 8 2 は、オペレータの所望に応じて装置の速度を選択的に上昇または低下させる。特に、ニュートラル, 第 1 速, 第 2 速, 第 3 速, リバースなど(或いは、低速, 中速, 高速など)、様々の速度範囲を備えることができる。幾つかの実施形態では、清掃作業は低速で行われ、場所から場所への移動はより高い速度で行われる。例えば、オペレータが速度範囲を第 1 速に設定した場合、スロットル 8 2 の作動が装置をその速度範囲で進ませ、速度範囲の手動でのシフトが無ければ、装置は第 1 速範囲(レンジ: range)から第 2 速レンジへ移行することはできない。このように、本発明の実施形態は、手動の速度レンジの選択装置(セレクター: selector)を有しており、スロットル 8 2 が簡単に所望の速度レンジを作動モードにする。オペレータによって中立モードを設定することができ、そこでは、如何なる量のスロットル 8 2 の連動状態でも、装置の速度を上げることはない。更に、簡潔に上述したように、オペレータがその足をオペレータ存在スイッチ 8 0 から離すと、装置は自動的にスロットルを解放する。しかしな

がら、当業者であれば、本発明の範囲を逸脱することなく、自動車において採用されているように、選択的な速度増加をもたらすスロットル 8 2 が備えられ得ることを理解するであろう。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 6】

本発明の実施形態は、また、制動（ブレーキ）機構を有している。例えば、オペレータが、オペレータ存在スイッチ 8 0，スロットルからその足を外した場合、或いは、プラットフォームスイッチを解除した場合、装置の如何なる動作も、自動的に或いは次第に止まるように、ブレーキ機構が採用されている。ブレーキ機構は、電子機械式、機械式または液圧式のものである。その代わりに、同様の停止機能をもたらす足踏み式のブレーキが、スロットル 8 2 又はオペレータ存在スイッチ 8 0 に近接して設けられてもよい。更に、手動または緊急のブレーキが、装置の制御パネルに近接して備えられてもよい。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 7】

- 2 床処理装置
- 4 プラットフォーム
- 6 オペレータ
- 8 シャーシ
- 1 0 シャーシの底面
- 1 2 ブラシ
- 1 3 回転ブラシ
- 1 4 スクラパー
- 1 6 スキージ
- 1 8 車輪
- 2 0 操舵輪
- 2 2 ジョイスティック
- 2 4 ハンドルグリップ
- 2 6 動力付きの車輪
- 2 8 バニッシングパッド
- 3 0 揺動ブラシ
- 3 2 ワンド
- 3 4 ホース
- 3 6 揺動アーム
- 3 8 軸受
- 4 0 トラック
- 4 2 回転ポイント
- 4 4 ハンドル
- 4 6 カム
- 4 8 濾過バスケット
- 4 9 廃液タンクカバー
- 5 0 廃液取り入れ口
- 5 1 メイン貯留タンク

- 5 2 清浄流体取り入れ口
- 5 4 継ぎ手
- 5 6 フランジ
- 5 8 廃液バッグ
- 6 0 マンドリル
- 6 2 排液ホース
- 6 4 バンドクランプ
- 6 6 後部カウリング
- 6 8 バッテリ
- 7 0 トレイ
- 7 2 飲物ホルダ
- 7 4 カウリングパッド
- 7 6 制御パネル
- 7 7 ファスナ
- 8 0 オペレータ存在スイッチ
- 8 2 スロットル
- 8 4 シート
- 8 5 調整機構
- 8 6 フック
- 8 8 前部カウリング
- 8 9 灯り
- 9 2 真空ファン
- 9 4 真空排気チャンネル
- 9 6 廃水戻りホース
- 9 8 ホースチャンネル
- 1 0 0 チップオーバーストップ